

施策番号	1101		
施策名	京都で学び、住み続けたいとなる「大学のまち」の実現		
概要	世界中の学生が学びたいとなる「大学のまち京都」を実現するため、大学施設の拡充と市内への回帰を促すとともに、個性あふれる大学が集積している利点を生かして、「学びの環境」を充実する。		
担当局・部室	総合企画局・総合政策室	共管局・部室	
上位政策	11 大学		
施策に関する主な分野別計画等	大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2014-2018		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	大学コンソーシアム京都加盟校に占める単位互換制度参加大学・短期大学の割合(%)	b	b	94	94	100.0	94.0%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答						有効回答 者数	評価
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない			
1	京都は、「大学のまち」として学びの環境が充実し、多様な伝統文化芸術等に触れる機会に恵まれている。	a	a	166	327	131	40	13	677	a	
				24. 5%	48. 3%	19. 4%	5. 9%	1. 9%			
2	-	-	-							-	
3	-	-	-							-	
4	-	-	-							-	
5	-	-	-							-	
		a	a	市民生活実感調査総合評価						a	

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 学生や市民が京都で学び住み続けたいことを目指す施策であるため、市民の実感を重視する。						平成30年度	A
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						平成29年度	A
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	京都市立芸術大学の移転整備の推進と西京区・洛西地域の活性化の取組	39,403	411,215	—	行財政局
2	大学施設整備支援誘導事業	9,987	9,987	良い	総合企画局
3	大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）	192,175	192,494	—	総合企画局
4	大学コンソーシアム京都との協働による大学政策の推進	6,003	6,632	良い	総合企画局
5	「大学のまち京都・学生のまち京都」のプロモーション	5,625	5,162	かなり良い	総合企画局
6	次期「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」の策定	11,109	0	—	総合企画局
7	京都企業と連携した次代の京都を担う人材（担い手）の育成事業	5,592	5,685	良い	総合企画局
8	大学の知を活かした多角的な市政研究事業	846	0	—	総合企画局
9	学生向けアプリ（「大学のまち京都・学生のまち京都」アプリ（仮称））の開発	0	10,879	—	総合企画局
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・社会人を対象とした生涯学習事業「京カレッジ」について、毎年好評いただいている京都力養成コース「京都学講座」をはじめ、受講者に京都ならではの特色ある科目を提供するなど、個性あふれる大学が集積している利点を生かした「学びの環境」の充実に取り組んでいく。

・大学間連携により京都で学ぶ魅力を向上させるため、京都鉄道博物館や京都国際マンガミュージアム等、京都を代表する学生の関心が高い施設において、「京都世界遺産PBL科目（※PBL：課題発見・解決型学習）」に続く「文化芸術都市・京都」の利点をいかしたPBL科目の開設に取り組んでいく。

施策名	1101	京都で学び、住み続けたくなる「大学のまち」の実現				
指標名	大学コンソーシアム京都加盟校に占める単位互換制度参加大学・短期大学の割合（％）					
担当課	総合政策室		連絡先	2 2 2 - 3 1 0 3		
1 指標の説明						
大学コンソーシアム京都加盟校に占める単位互換制度参加大学・短期大学の割合						
2 指標の意味						
「大学のまち京都」の活性化に向けた「学びの環境」の充実状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：（公財）大学コンソーシアム京都，総合政策室調べ			
4 数値						
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	94	94	増減なし	100	全ての大学コンソーシアム京都加盟校が単位互換制度に参加	94.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		100%	令和2年度	94.0%	全ての大学コンソーシアム京都加盟校が単位互換制度に参加	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：95%以上～100% b：90%以上～95%未満 c：85%以上～90%未満 d：80%以上～85%未満 e：80%未満			6 基準説明			
			・目標値から5%刻みでa～e評価			
7 評価結果						
平成29		平成30		令和元		
b		b		b		